

(9) 公認心理師受験資格について

公認心理師とは「心理に関する支援を要する者の心理状態の観察・分析」「心理に関する支援を要する者との心理相談による助言・指導」「心理に関する支援を要する者の関係者との心理相談による助言・指導」「メンタルヘルスの知識普及のための教育・情報提供」を行う日本の心理職の国家資格である。

・本研究科は、公認心理師の養成大学院として認定されている。

①受験資格取得方法

本研究科において、下記により必要な要件を充たせば、受験資格を得ることができる。

ただし、学部での要件が前提となる。

1) 公認心理師の受験資格取得に必要な単位は次のとおり。履修漏れのないよう十分注意すること。

大学院における必要な科目	本研究科設置科目
1.保健医療分野に関する理論と支援の展開	保健医療分野に関する理論と支援の展開 (精神医学特論) (2 単位)
2.福祉分野に関する理論と支援の展開	福祉分野に関する理論と支援の展開 (福祉心理学特論) (2 単位)
3.教育分野に関する理論と支援の展開	教育分野に関する理論と支援の展開 (学校臨床心理学特論) (2 単位)
4.司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 (犯罪心理学特論) (2 単位)
5.産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業・労働分野に関する理論と支援の展開 (社会心理学特論) (2 単位)
6.心理的アセスメントに関する理論と実践	心理的アセスメントに関する理論と実践 (臨床心理査定実習) (2 単位)
7.心理支援に関する理論と実践	心理支援に関する理論と実践 (臨床心理面接特論Ⅱ) (2 単位)
8.家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 (家族力動論特論) (2 単位)
9.心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育に関する理論と実践 (医学的心理学特論) (2 単位)
10.心理実践実習 (実習時間は 450 時間以上)	心理実践実習 A(臨床心理学実践学実習) (2 単位) 心理実践実習 B(病院臨床特論) (2 単位) 心理実践実習 C(臨床心理面接概論) (2 単位) 心理実践実習 D(臨床心理実習Ⅱ) (1 単位) 心理実践実習 E(学外実習) (2 単位)

2) 心理実践実習について

科目名	内容	実習時間（例）
心理実践実習 A （臨床心理学実践学実習）	臨床心理センターと学外で担当した事例を実習指導者から指導・指示を受けたのちに、事例検討会で発表を行い、事例発表を含めた技能を獲得する。	【担当事例】 60 時間
心理実践実習 B （病院臨床特論）	医療現場、特に病院内のチーム医療や多職種連携他に参加・体験する。それに基づいて実習指導者が指導・指示を行う。	【事前学習・見学】 60 時間
心理実践実習 C （臨床心理面接概論）	公認心理師に求められる心理学的な支援の方法を特に面接の仕方について必要な知識、およびそれに基づいた現在の臨床的課題を学び、本学の実習指導教員又は担当教員が指導・指示する。	【事前学習・見学】 60 時間
心理実践実習 D （臨床心理実習 II）	臨床心理センターと学外で担当した事例を実習指導者から指導・指示を受ける。	【担当事例】 30 時間
心理実践実習 E （学外実習）	学外の実習施設（保健医療分野、教育分野、福祉分野）において、公認心理師に求められる心理的支援を要する者の相談、指導、援助等の実習を行う。	【事前学習・見学】 100 時間 【担当事例】 120 時間
臨床心理センターにおける実習	臨床心理センターでケースを担当し、担当教員が指導する。	【担当事例】 60 時間